



長沢小学校

ふれあい自然学習

7月6日、いの町教育委員会ス

クールコミュニティ育成事業の一環として、地域の自然・人材・施設などを活用した全校自然体験学習を実施しました。

会場は本校からバスで15分の所にある「木の根ふれあいの森」で、メンインの活動は、山野草を使った野外炊飯でした。

山野草の解説や調理実習の指導をお願いしたのは、食育インストラクターや野菜ソムリエの資格を持ち、和ハーブ協会会員である地域の方お二人と、ここの中管理人の方です。

小雨模様でしたが、児童10名が3班に分かれて早速調理に取り掛かりました。ご飯は、ジャガイモを混ぜて竹筒に入れ、炭火で焼きあげました。ハーブ入りのサラダやトマトスープなどがてきぱきと仕上がり、キャンプサ

イトの屋根付き炊飯工場にいい香りが満ちてきました。



児童は、担当の仕事に余裕ができるとほかの班を手伝ったり、配膳の準備を進めたりと、自主的に動けていました。

食事の後には、山野草の名前当てクイズなどで、楽しみながら身近な自然に親しむことができました。手作りの、とても良い香りがする防虫スプレーもお気に入りで、「是非今度は、学校で作り方を教えてください」と交渉する一幕もありました。

地域の良さに気付き、もっと自然を知りたくなった児童でした。



総合的な学習の時間を使って行っています。本年度はさらに「吾北愛」を深めるために、昨年度にも増しています。その一つが、全校生徒教職員による「吾北巡りバスツアー」です。18年前に5つの中学校が統合して、生徒たちはバス通学になり、吾北といつても広範囲からの通学を強化されています。保護者の中にも、「清水第一小学校はどこにあるのやろう」「上東地区に行つたことがない」といった声も上がっていました。

ましてや、生徒にとっては友達がどんなところから通っているのか、どこに家があるのかも知らない生徒が大半です。

そこで、まずは旧小学校跡を中心

にバスで半日かけて巡ってみようということで、7月13日にスクールバスに分乗して出発しました。

このバス巡りは、生徒が新聞記者として「直接に知る」ことの大切さがよく分からりました。生徒会長も「自分たちが地元について調べ、未来に残していくたい」と今後の取組について意気込んでいます。

このバス巡りは、生徒が新聞記者となつて取材するというかたちをとっています。取材した各地区の内容を新聞にし、2学期の文化発表会でもプレゼンテーションを行うことにしています。

吾北中学校

「吾北愛」を育てる

〈吾北を知り・吾北にふれ・吾北を考える〉をテーマに！

今年度は昨年度に引き続き、「山

の学習支援事業」を受け、吾北の川（仁淀川）“山”、そして“人”との関わりを体験的に学ぶことで、吾北愛を感じながら3年間の中学校生活を過ごしてほしいとの思いから、

- 上八川地区／旧上八川小学校
- ↓下八川地区／旧下八川小学校
- ↓柳野公民館
- ↓下八川公民館
- 小川地区／ふれあいの里
- 清水地区／旧清水第一小学校
- ↓旧清水第一小学校

↓旧上東小学校

「吾北巡りバス」ツアーコース

○上八川地区／旧上八川小学校
↓吾北中央公民館→吾北分校

「吾北巡りバス」ツアーコース

○上八川地区／旧上八川小学校
↓吾北中央公民館→吾北分校

